

# 限定空間における対人距離の知覚とその影響要因に関する研究：対人場面を想定した評価実験を通して

松本，輝紀

---

<https://doi.org/10.15017/459171>

---

出版情報：Kyushu University, 2005, 博士（芸術工学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：

**限定空間における対人距離の知覚とその影響要因に関する研究  
—対人場面を想定した評価実験を通して—**

A Study on the Perception of Interpersonal Distance and the Factor

That has Influences in a Limited Space

Using experiments in perceptions of others and their impressions

**2006年1月**

**松本 輝紀**

**MATSUMOTO Teruki**

# 目次

## 第1章 序論

1.1 研究の背景	1
1.1.1 生活環境における環境利用と領域形成に関する考察	
1.1.2 生活環境のデザインにおける問題点と環境心理学的アプローチ	
1.2 既往研究	10
1.2.1 人間の領域に関する概念の整理	
1.2.2 関連論文のレビュー	
1.2.3 領域の予測	
1.3 研究目的と位置づけ	22
1.3.1 研究目的	
1.3.2 基本仮説	
1.3.3 既往研究に対する位置づけと本研究の新規性	
1.4 用語の定義	23
1.5 本論文の構成	24

## 第2章 限定空間における対人知覚と印象評価

2.1 実験1：空間の奥行きと姿勢の違いからみるパーソナルスペース の拡がり	37
2.1.1 目的	
2.1.2 手順	
2.1.3 結果	
2.2 第2章のまとめ	53

**第3章 限定空間における対人知覚と領域形成**

3.1 実験2：対人距離の知覚とその精度	60
3.1.1 目的	
3.1.2 手順	
3.1.3 結果	
3.1.4 考察	
3.1.5 実験2のまとめ	
3.2 実験3：他者に対する自己のとどく距離の予測	65
3.2.1 目的	
3.2.2 手順	
3.2.3 結果	
3.2.4 考察	
3.2.5 実験3のまとめ	
3.3 第3章のまとめ	69

**第4章 結論**

4.1 総括	75
4.1.1 成果の整理	
4.1.2 目的および仮説に対する回答	
4.2 今後の課題	77
4.2.1 研究手法について	
4.2.2 繼続すべき研究課題と今後の論点	
謝辞	80